

生地秋田への感謝と夢



「秋田市観光クチコミ大使」ピアニスト ^いの^あ ^すか **飯野 明日香氏**

この冬は豪雪に見舞われ、雪に慣れていらっしゃる皆様とはいえ、大変なご苦労だったことと存じます。秋田の皆様の被害が少しでも少なかったことを、お祈りしております。

今年は東京でも雪の降ったある日、その何十年前に大雪の秋田で私は生まれました。母の里帰り出産だったため数週間で秋田を離れましたが、祖母、そして親戚との時を過ごすために毎夏秋田で過ごしました。現在は東京を中心に演奏活動しておりますが、親族が住んでいることもあり、演奏会も含め年に数回は秋田に行っています。

昨年は秋田のアトリオン音楽ホール主催で三重奏の演奏会をさせていただきました。秋田出身者であるチェロの羽川真介さんとヴァイオリンの石亀協子さんとの共演は数年前から行っておりましたが、昨年は Trio TAK として秋田と東京で2公演行いました。名前の由来は Akita をイメージしたもので、そして私たち3名の師匠ともいえる秋田県文化功労者の羽川武氏のお名前からつけさせていただきました。

東京公演には秋田出身の皆様が駆けつけてくださり、その後の宴も美味しい日本酒とともに温かく楽しい時を過ごすことができました。

そうなのです、秋田の素晴らしさは「人の素晴らしさ！」。もちろんたくさん良いところがありますが、私は秋田の方々のお人柄の温かさ、懐の広さに人生を支えてきていただいております。

まだ20代の頃、留学でパリに住んでおりました。日本人向けのフリーペーパーがあり、ある日その広告欄に「この度、在仏秋田県人会を作ります」という記事を見て、何かに強く惹かれ「住んでいたことはないのですが、入会させて貰えませんか」と勇気を出してFAXを送りました。そこから県人会の方々には本当にたくさんのご支援いただきました。自己も確立しきっていない不安定な身を、温かく包み込んで励まし支えてくださった皆様には、心から感謝しております。

昨今は仕事で色々な地に行くことも多く、その度にクチコミ大使の名刺をお渡しするのですが、先日「アッセンブリッジ・ナゴヤ」というアートイベントで名古屋に行った時のこと。その主催者の方の名刺に「秋田公立美術大学大学院准教授」の名称があり、思いがけない土地でのご縁に驚きました。2004年に創設された国際教養大学も、大変興味深い内容の大学であると伺っておりますが、この少子化で学校経営の厳しい中、秋田には新たに特色のある魅力的な学校が生まれ、若い学生たちが県外からも多く集い生き生きと学んでいる。これは本当に貴重なことであり、秋田の大きな力になると思います。このような若い力が、思いきり自分たちのやりたいことをできるような環境、サポート体制、自由な風潮のもと、秋田から新しい風を発信していけたら…私が未来の秋田に抱いている夢です。

秋田にはこの先このような大きなパワーが生まれてくると信じています。クチコミ大使の一員として、これからも新たな活動を秋田で展開し、またそのエネルギーと活気に満ちた秋田を全国に知っていただけるよう、努めてまいりたいと思っております。



昨年のアトリオン音楽ホールでの演奏会チラシ

■略歴

秋田市生まれ。東京藝術大学附属高校、同大学、パリ国立高等音楽院ピアノ科、フォルテピアノ科卒。ベルギー政府給費留学生としてブリュッセル王立音楽院ピアノ科マスターコース修了。

2010年第28回中島健蔵音楽賞、2014年度レコード・アカデミー賞(現代曲部門)受賞。

現在、洗足学園音楽大学、桐朋学園大学音楽学部、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校非常勤講師。ピティナ汐留イタリア街ステーション代表。

オフィシャルサイト www.askaiino.com